

受 付 番 号	202405		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111345 号		
研究課題名	救護施設『あかつき』に関する歴史的調査：施設資料の分析		
研究責任者	篠原 史生	申 請 者	篠原 史生
研究終了日	2025 年 3 月 31 日		
所 属	看護学部 精神看護学領域	所 属	看護学部 精神看護学領域
職 名	助教	職 名	助教

申請の概要

近年、日本の精神保健・医療・福祉をめぐっては、従来の入院医療中心から地域生活中心へと政策的な転換が図られているが、今なお実現は困難な状況にある。そうしたなか、精神障害に関わる保健・医療・福祉の現状がいかに形成されてきたかを歴史的に検討することは、政策的な観点からも重要性を増している。本研究が主題とする救護施設は長らく、精神科病院を退院した後に家族のもとに帰ることができず、さらに地域にも行き場をもたなかった精神障害者が身を寄せる施設として存在し続けてきた。すなわち、救護施設における精神障害者処遇の実態を解明することは、現在の精神保健医療福祉体系が戦後どのように形成されてきたのかを知るために不可欠である。

そこで本研究は、精神障害者を専門的に受け入れた著名な救護施設である「あかつき」（東京都・社会福祉法人黎明会）を対象として、同施設が保管する「在寮者名簿」と「死亡者台帳」（ケース記録）の記述を分析することにより、救護施設に入所した精神障害者の社会動態（性別や年齢階層、学歴、職歴、家族関係や生活圏の広がり、入院していた精神科病院の地域的分布や偏りといった様々な特質）を解明することを目的とする。本研究により、救護施設に入所した精神障害者に関する分析が可能になることで、戦後日本の精神科医療と福祉をめぐると実践に関して救護施設が果たした役割について新たな示唆が得られる。